

桃・ブドウ生産拡大を支援

	助成要件（すべての要件を満たす方を対象とします）	対象物件	リース料助成額
 <p>ブドウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハウス栽培導入等による販売期間長期化の計画があること ブドウの作付面積50a以上、または3年以内に50a以上とする計画があること 3年以内に既作付面積の1割以上の拡大計画があること 	ハウス・ブドウ棚、加温設備・自動換気装置等ハウス内設備、ブドウの栽培に必要な農機具	<ul style="list-style-type: none"> 作付面積が50aをすでに超えている場合 本体価格（税抜）の20%相当額（上限300万円） 作付面積が50a以上を目指す場合、本体価格（税抜）の30%相当額（上限300万円）
 <p>モモ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主力ブランド以外の早生・晩生品種のモモを栽培する、もしくは増産する計画があること モモの作付面積が1ha以上、または3年以内に1ha以上とする計画があること 3年以内に既作付面積の1割以上の拡大計画があること 	SS（スピードスプレーヤー）、高所作業車等モモの栽培に必要な農機具	<ul style="list-style-type: none"> 作付面積が1haをすでに超えている場合、本体価格（税抜）の20%相当額（上限100万円） 作付面積が1ha以上を目指す場合、本体価格（税抜）の30%相当額（上限100万円）

農機具等のリース料一部助成

JAGグループ岡山は、農業者の所得増大と地域活性化に向けてリース料の一部を助成する「岡山県産モモ・ブドウ生産拡大支援事業」に取り組んでいます。県内で桃・ブドウの生産拡大に積極的な農業者、農業法人、JA出資法人に対して、農機具などの導入にかかるリースの一部を助成します。

対象者

農業者、農業法人

募集期間

平成29年7月3日(月)～

8月31日(木)

お問い合わせ・お申込み

お近くのJA窓口

※上限を超える多数の申請があった場合、ご希望に沿えないケースもあります。

やさしい GAP

除草剤を安全に使う

- ✓ 散布地や雑草の種類・大きさにあった除草剤を選ぶ。
- ✓ 散布後の降雨は効果を低下させたり、周辺の農地や環境に影響を及ぼしたりする恐れがあるので、天候をよく見極めしてから散布する。
- ✓ 保護眼鏡、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用し、体に異常を感じたら、直ちに医師の診察を受ける。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- ✓ 散布液を調製した容器や散布器具は使用後十分に洗浄する。洗浄に使った水は河川に流さず、空容器はほ場等に放置しない。

茎葉処理除草剤「ザクサ」。適用作物が多く、水田畦畔や田畑、遊休地など、さまざまな場面で使えます。



- ✓ 公園、堤防等で使用する場合、散布中や散布後に小児や散布に関係のない者が散布区域に入らないよう配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- ✓ 調製した薬剤は使い切り、他の容器に絶対に移し変えない。
- ✓ 散布前に登録状況等ラベルをよく読む。

- ✓ 散布は噴口にカバー等を装着するか泡散布にし、周辺農作物等へ飛散しないよう注意して散布する。
- ✓ 水源地、河川等に飛散・流入しないよう十分注意する。除草剤の専用ノズル、専用器具を使い、高圧によるミスト散布は行わない。



散布液を作る時はマスクや手袋を忘れずに
散布液の調製時には、農業に直接触れる可能性が高いので、マスクや手袋など保護具を必ず着用しましょう。

